

熱気あふれる大成功

3.16 労働者集会

臨調・行革粉碎 / 三里塚ジェット闘争勝利 /

中江・北原選必勝！反合、3・27三里塚総決起

三月十六日、千葉市民会館で開かれた「3・16労働者集会」は、動労千葉組合員はもとより多くの国労組合員や支援共闘労組代表を含む五五〇名が結集し、3・27三里塚総力結集を突破口に三ノ四月三里塚・反合闘争を全力で闘い、中江・北原選挙闘争の勝利をおして日帝・中曾根、国鉄当局の反動攻勢を打ち破る戦闘宣言を発しました。

関川委員長・中江顧問が
千三百の先頭で闘う決意を表明

会場に入りきれずロビーにまであふれる大結集のなか、集会は片岡執行委員の力強い開会宣言で始まりまし。

あくまで基本路線を守って闘う！
北原事務局長・鈴木幸司本部役員
が決意表明

激戦の三里塚から、北原事務局長と鈴木幸司本部役員がかけつけ、満場の拍手で迎えられ壇上にたちました。

最初に主催者を代表して、関川委員長は「自民党・国鉄当局・動労革マル一体となつた国鉄労働運動解体、産業報国会化運動を打倒する路線こそ、81・3ジェット闘争の地平であり、反合・三里塚を闘う労働運動にあることを確認しよう。『一坪再共有化』運動をデッチあげて土地を売り渡す組織分裂策動を、何よりも敷地内農民の反対を無視して強行したことは断じて許せない。北原事務局長を中心とする敷地内農民との共闘を強化し、3・27三里塚現地大結集を勝ちとり、中江・北原選挙の勝利を勝ちとろう」と挨拶しました。

北原事務局長は「三里塚闘争の基本と原点は何か。それは『空港絶対反対・農地死守・実力闘争』以外にはあり得ない。しかし一部の人は、同盟の正式の決定も経ないで勝手に『大地共有委』なるものをデッチあげて、用地内農民が反対しているにもかかわらず土地を売り渡す策動を強行してきた。動労千葉は労働運動の原点と正義をかけて分離独立し、勝利の道をきり拓いてきた。反対同盟もまた、基本路線と原点の死守をもって、新たな必勝への陣形をうち固めようとしている。我々がイバラの道を越えたとき、真の労働同盟がつくられるだろう。用地内農民の不動の決意を柱に、反対同盟はあくまで基本路線を守って二期阻止を闘いぬく」と、きつぱりと決意を表明しました。

中野書記長、鮮明な基調を提起

基調は、「83年労働者はいかに闘うか」をテーマに中野書記長から提起されました。

浅田世話人も中江・北原の必勝を訴える

多くの来賓を代表して、動労千葉ジェット闘争支援共闘会議の浅田光輝代表世話人は、「二期を目前にして、『大地共有委員会』をデッチあげ、3・27第一公園での全国集会からの逃亡を呼びかける勢力の分裂行動と闘わねばならない。土地を売って金をもうけようという『一坪再共有化運動』は権力と対決する運動になり得ず、同盟内部に混乱を引きおこすことが狙いである。『再共有化』の是非を論ずるのではなく『党派の問題』にすり換えているが、これは闘いをつぶすための公団や条件派のいつものやりかただ。三里塚支援勢力を再結集し強化するためにも、中江・北原の当選を

今日の日鉄、三里塚をめぐり情勢、とりわけ国鉄労働運動と三里塚闘争という闘う拠点を破壊する攻撃の本質を、具体的に説明するとともに、こうした反動攻撃に対し労働者がどういう立場をとり、いかに闘わねばならないかの方向性が鮮明に提起されました。(次号掲載)

こうした提起を会場を揺るがす圧倒的拍手で確認し、最後に吉岡・中江選対事務局長の決意表明をうけ、「農地死守をつらぬく北原事務局長を先頭とする反対同盟と連帯し、3・27三里塚第一公園の総結集を勝ちとる」特別声明が満場の拍手で確認され、大成功のうち集会を終りました。